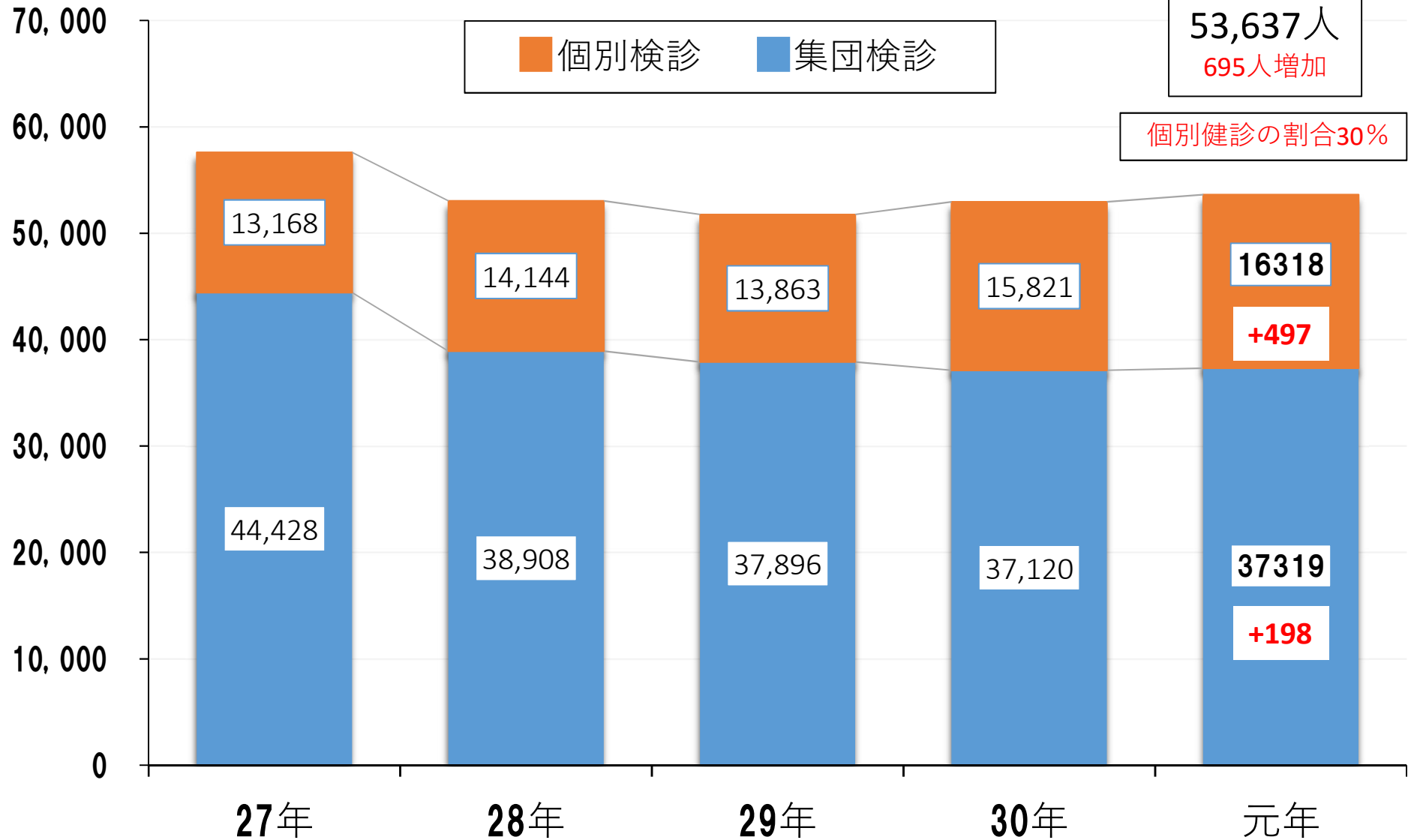


令和元年度 大腸がん検診 結果報告

公益財団法人 福井県健康管理協会

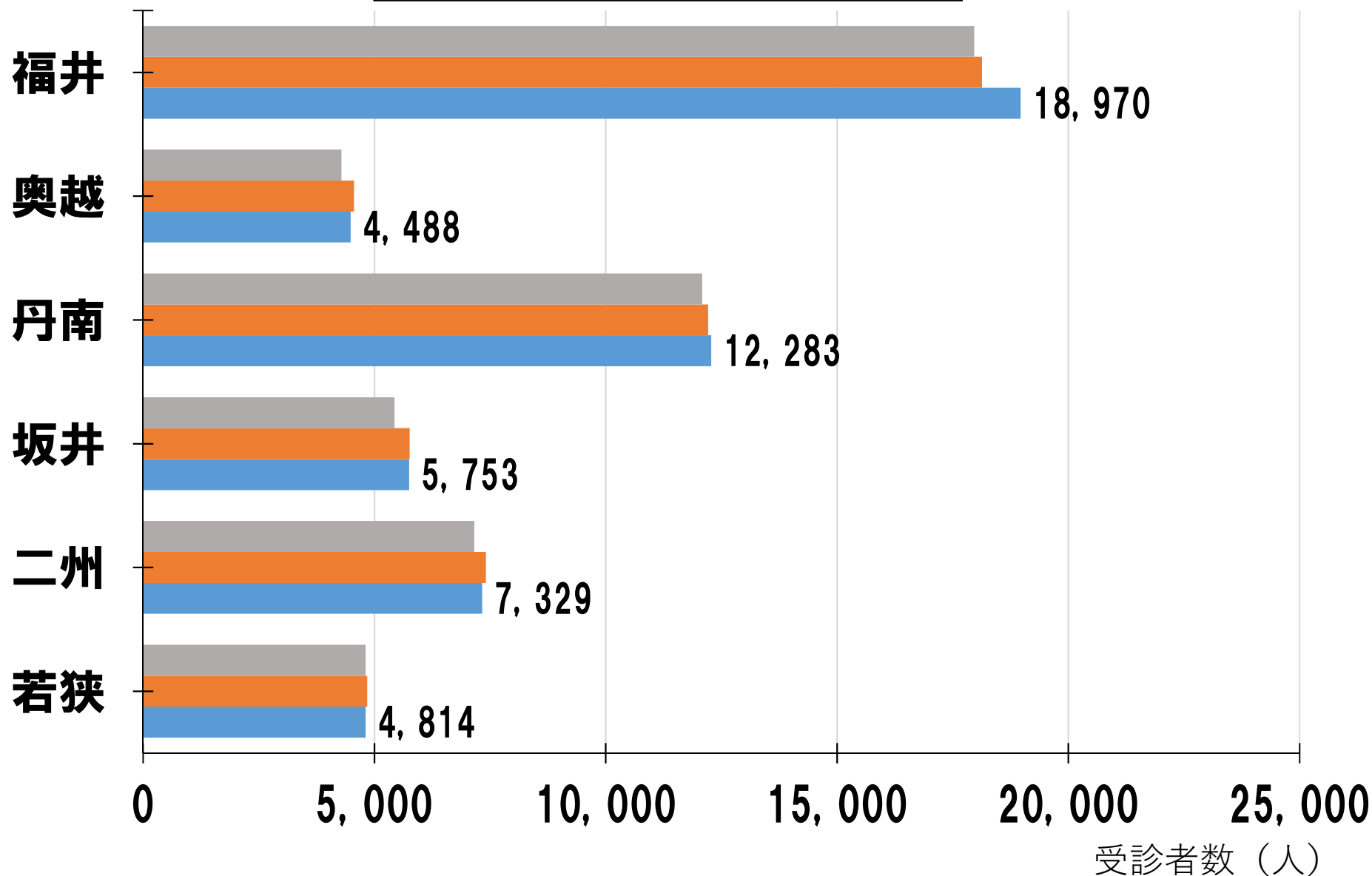
受診者数の推移

受診者数（人）



健康福祉センター管内別受診状況(全体)

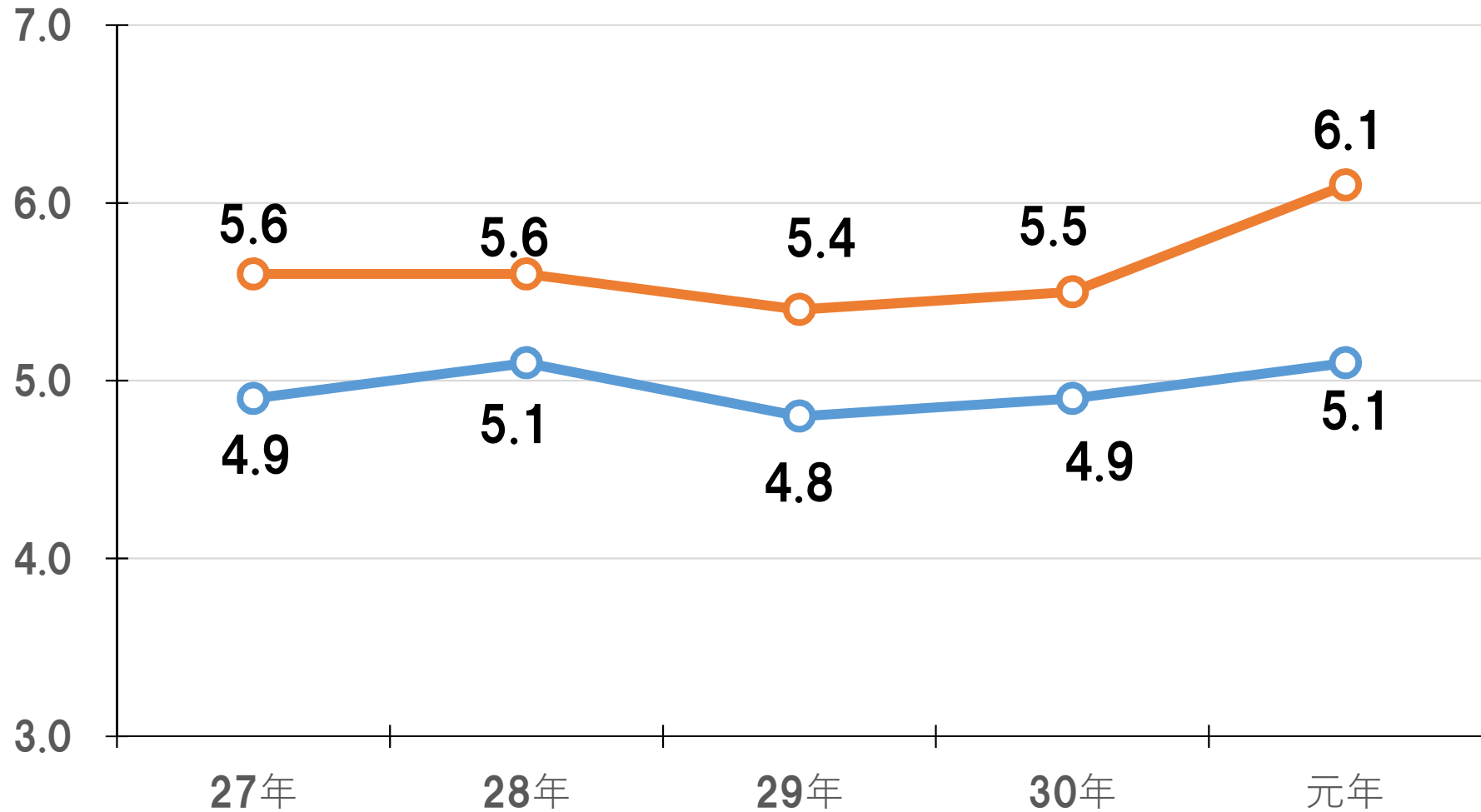
平成29年 平成30年 令和元年



要精検率の推移

要精検率 (%)

要精検率(集団) 要精検率(個別)

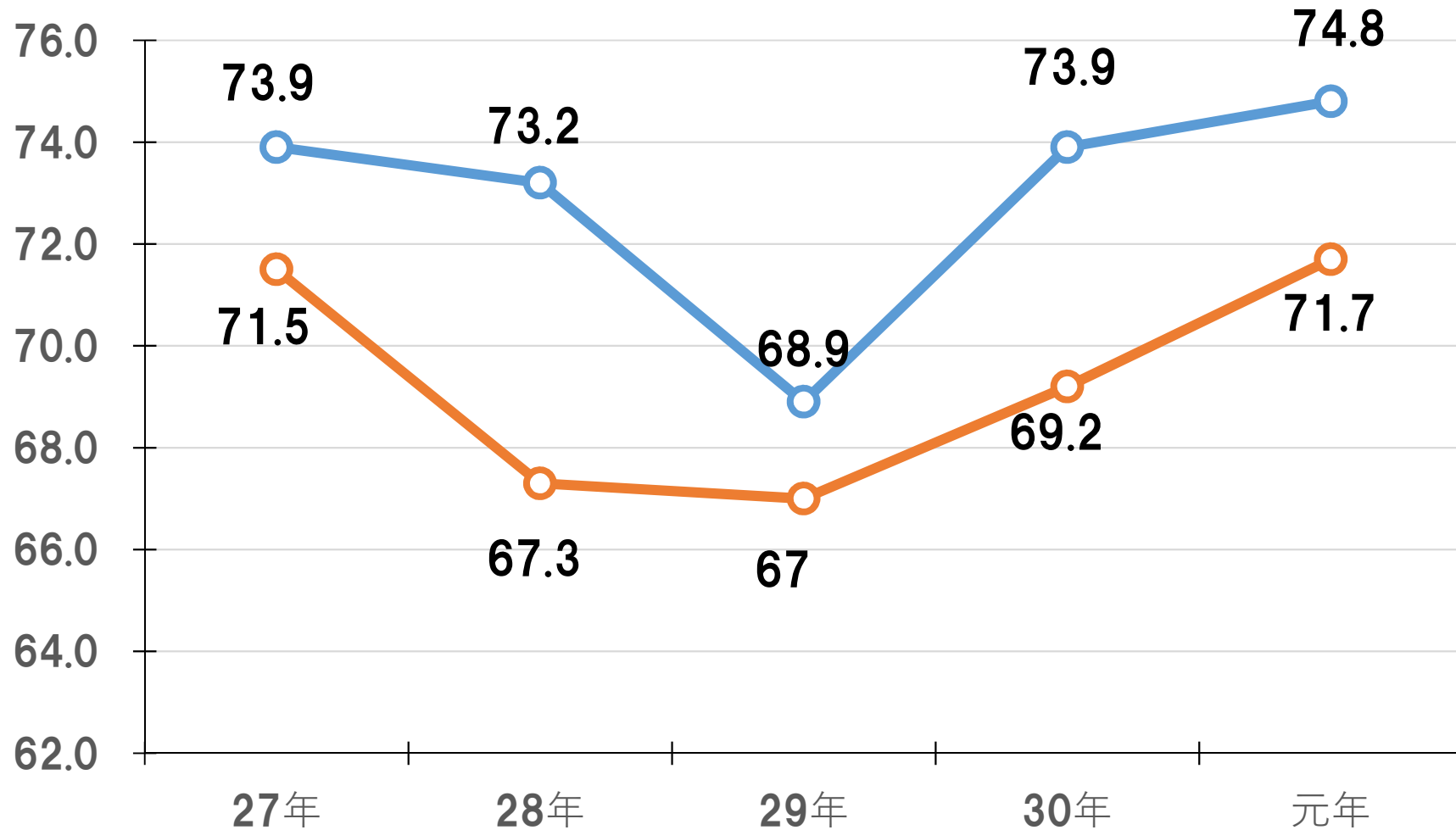


参考: 全国(平成30年度地域保健・健康増進報告書) 要精検率 5.97%

精検受診率の推移

精検受診率（％）

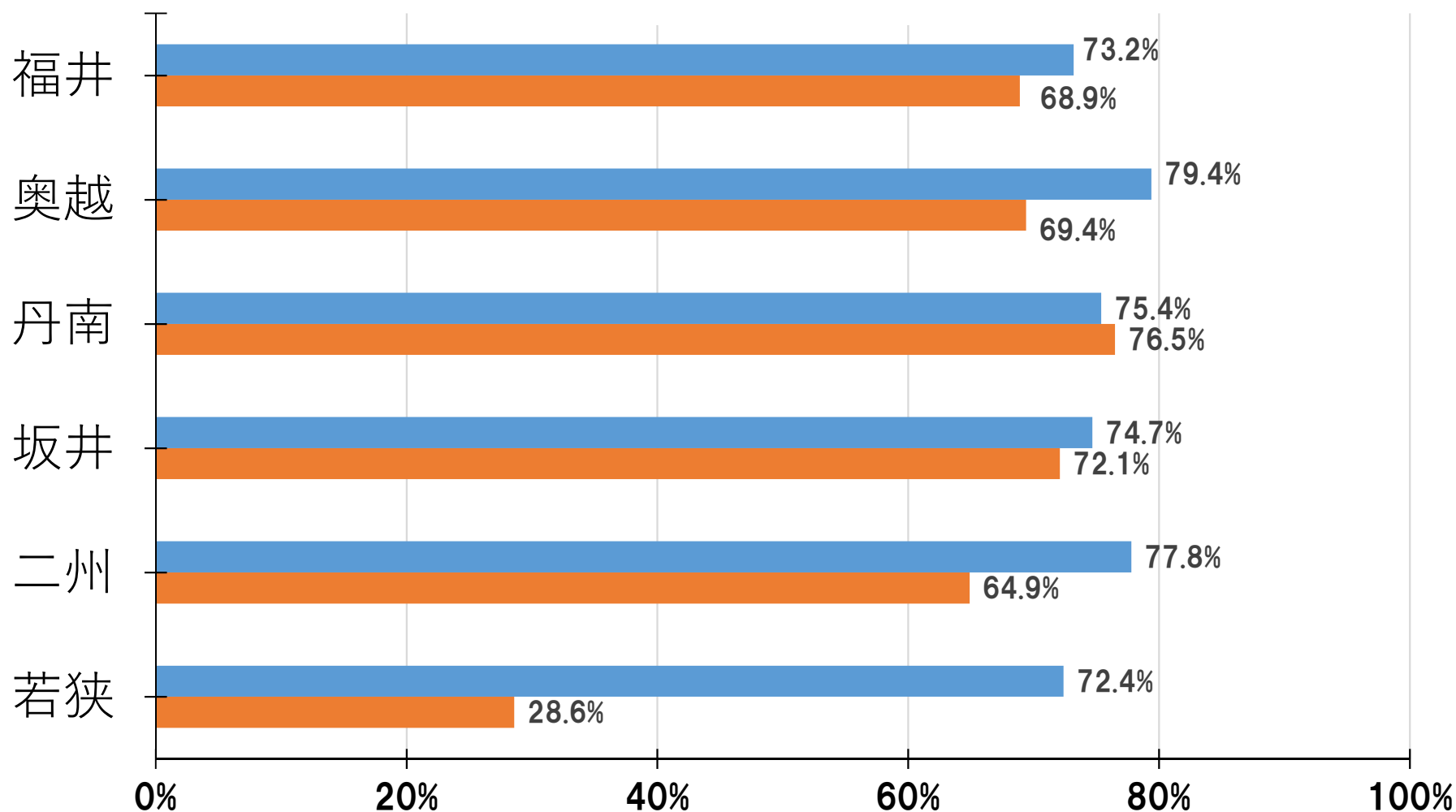
要精検率(集団) 要精検率(個別)



参考：全国（平成30年度地域保健・健康増進報告書） 精検受診率 69.7%

健康福祉センター管内別精検受診率

■ 集団検診 ■ 個別検診

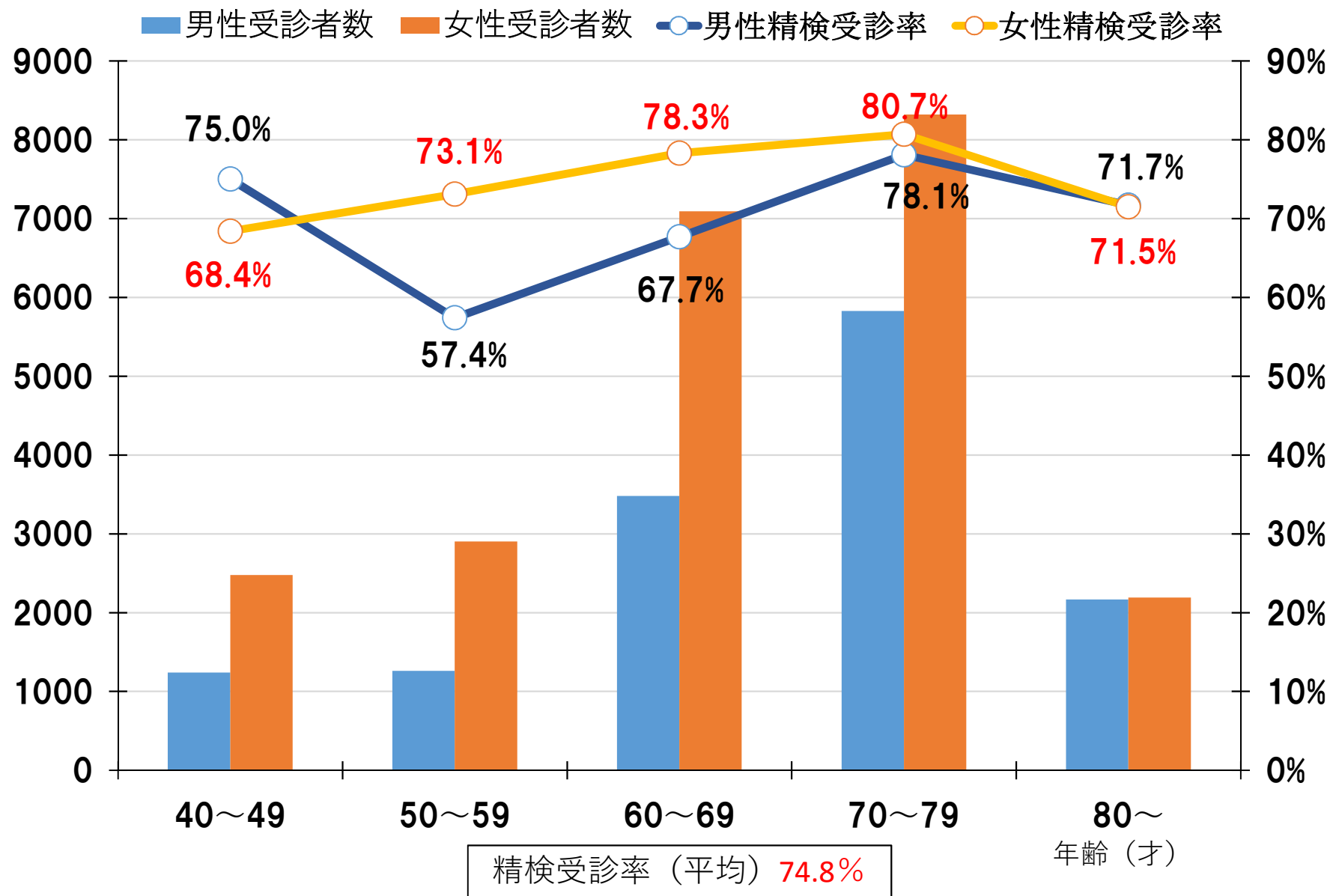


平均（集検） 74.8% 平均（個別） 71.7%

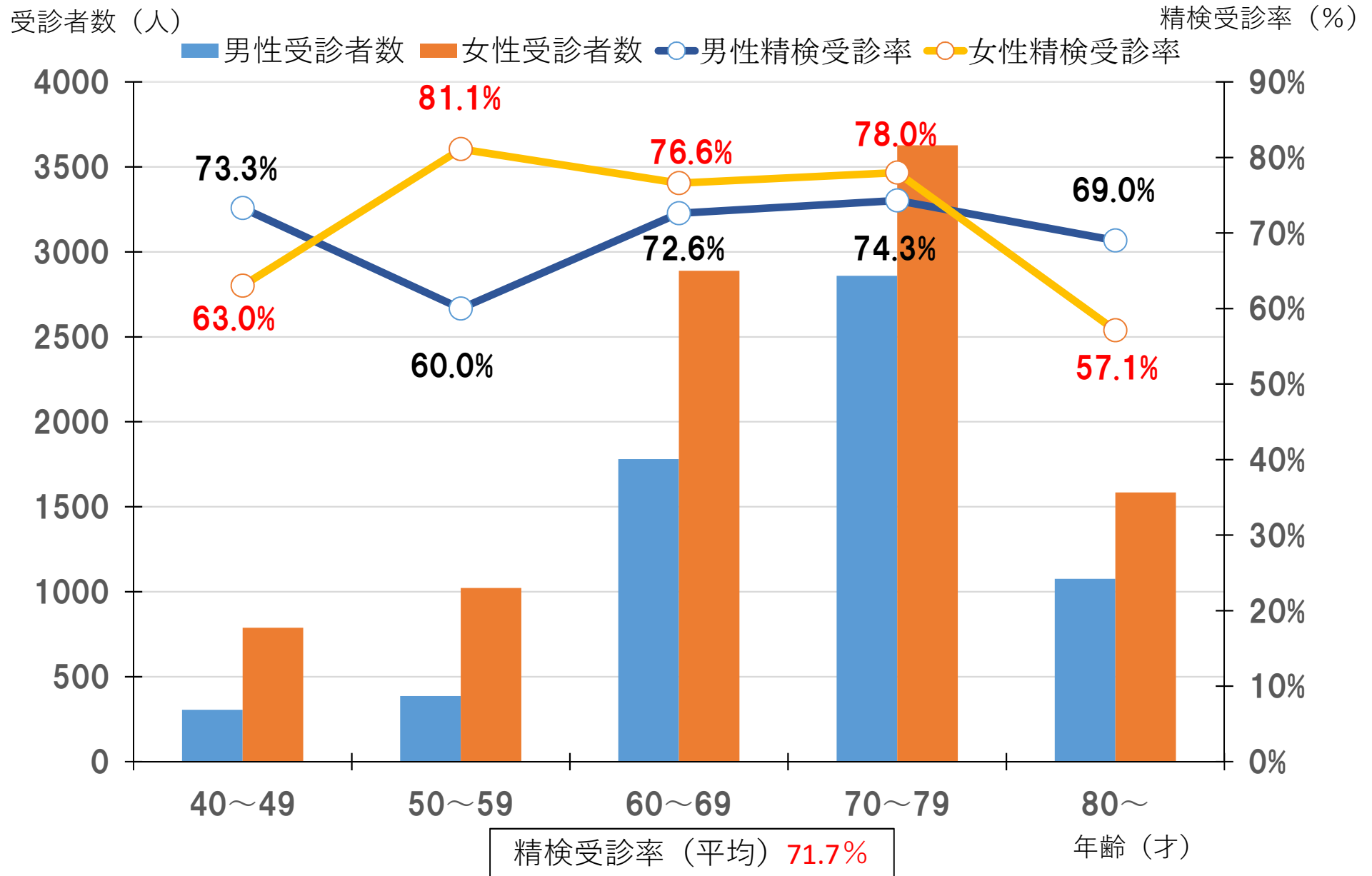
年齢別精検受診率(集団)

受診者数 (人)

精検受診率 (%)



年齢別精検受診率(個別)



年齢別精検受診率

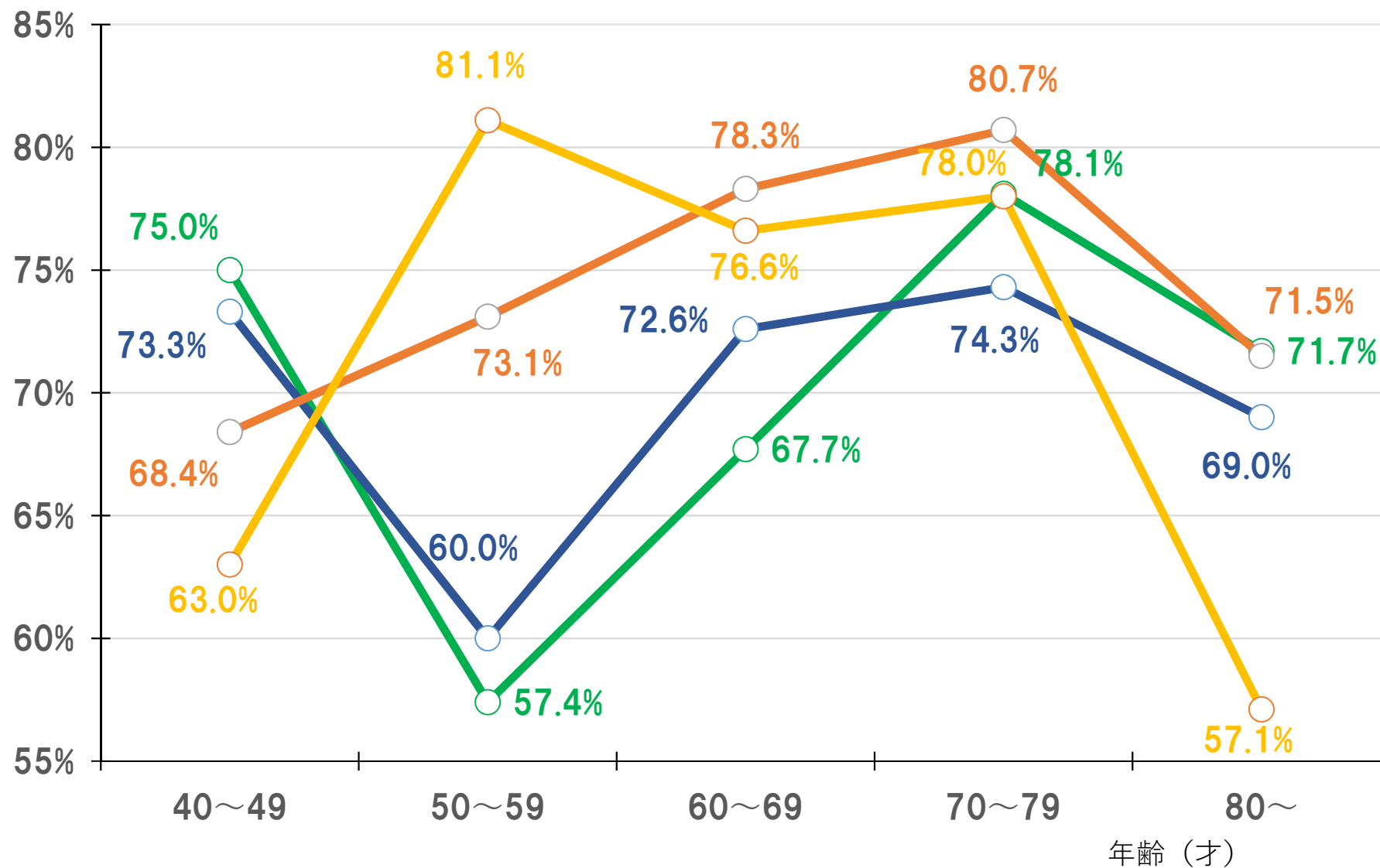
精検受診率 (%)

● 男性集検

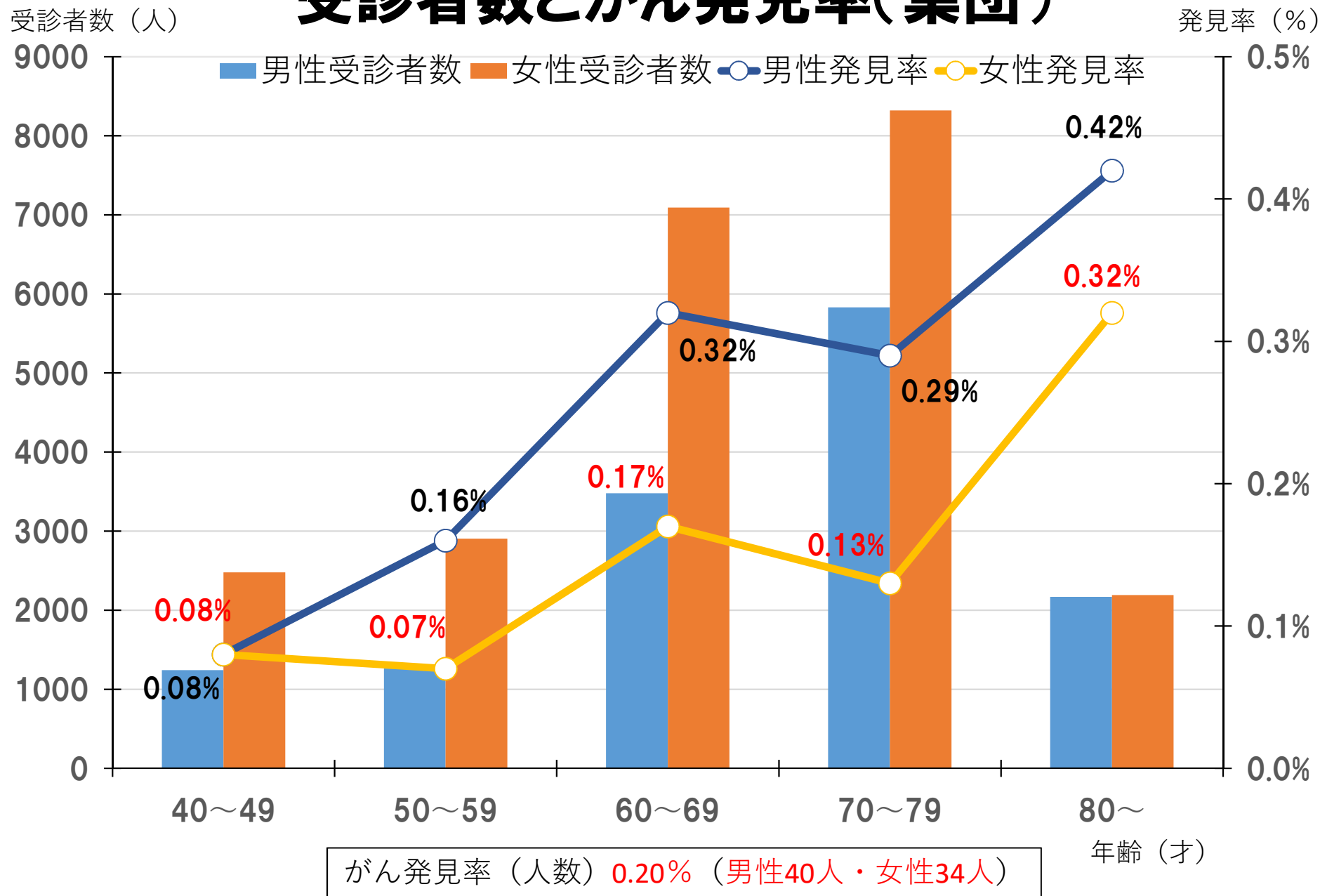
● 男性個別

● 女性集検

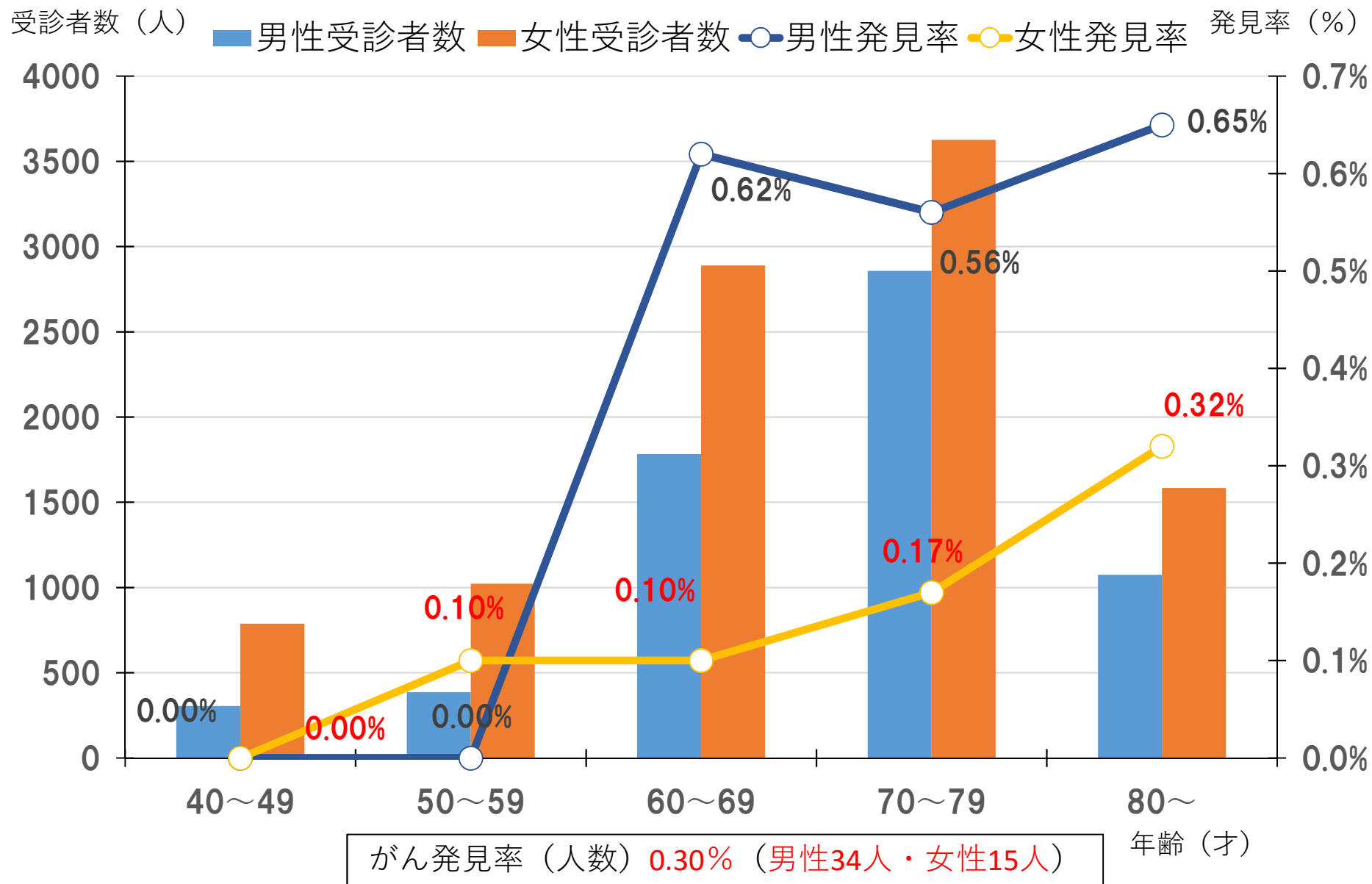
● 女性個別



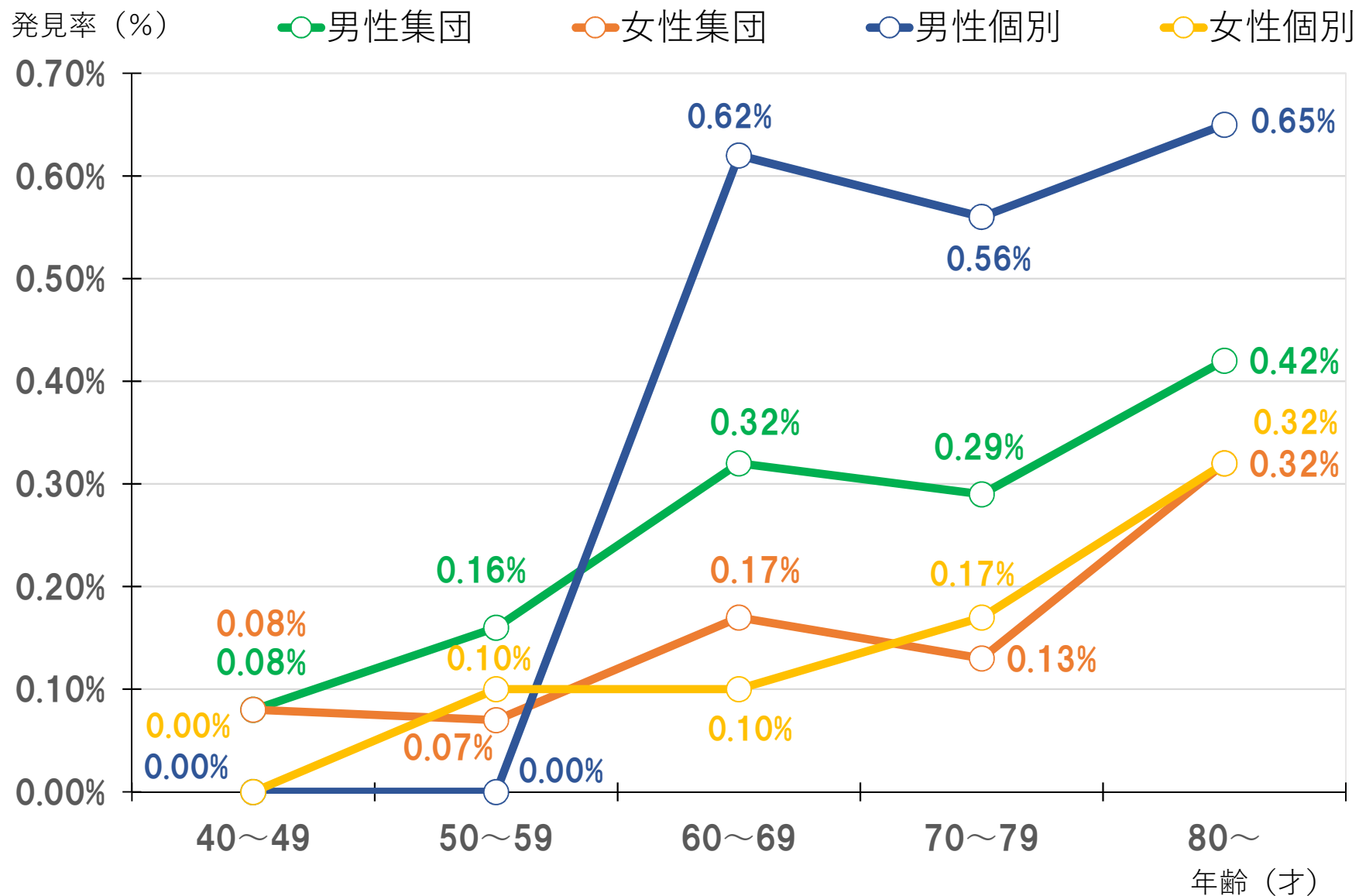
受診者数とがん発見率(集団)



受診者数とがん発見率(個別)

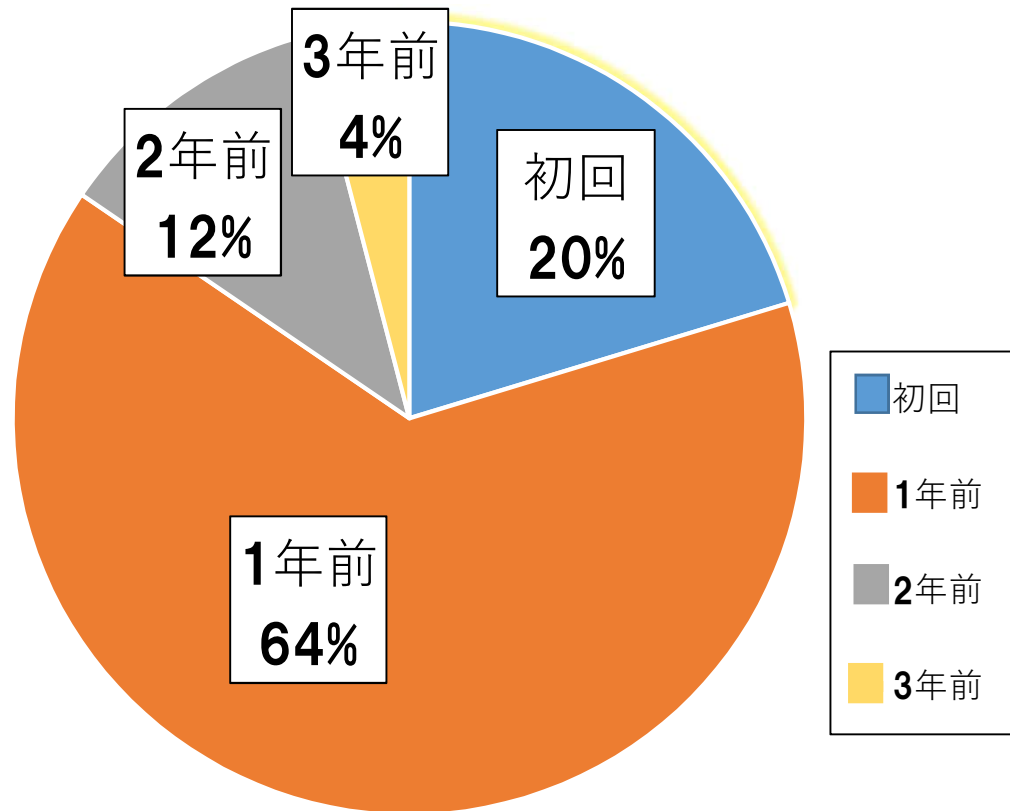


がん発見率

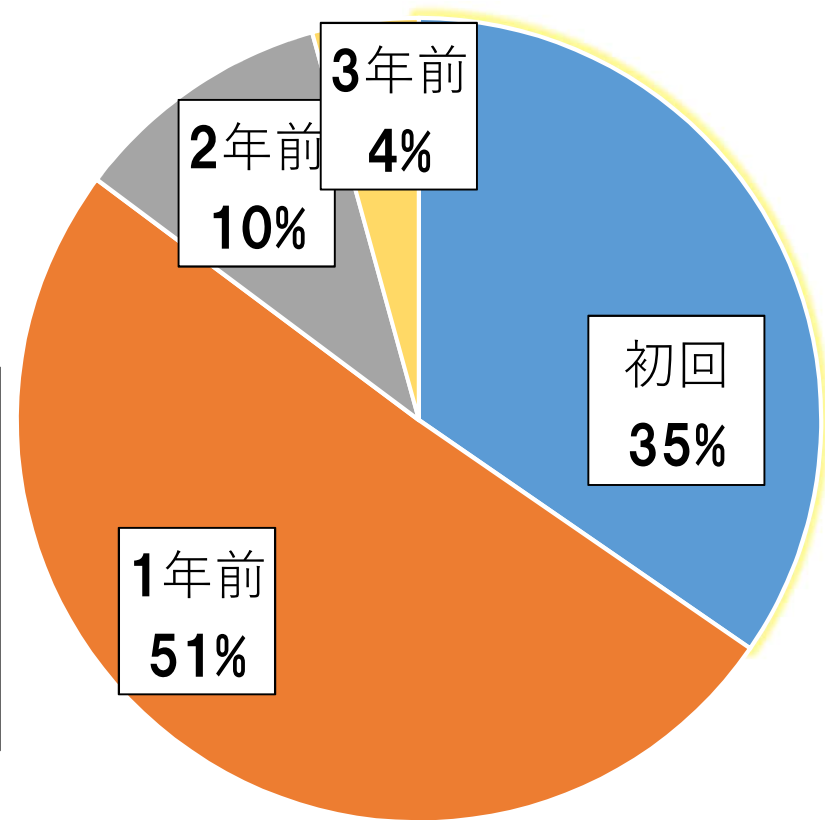


受診歴

集団検診 (37,319人)



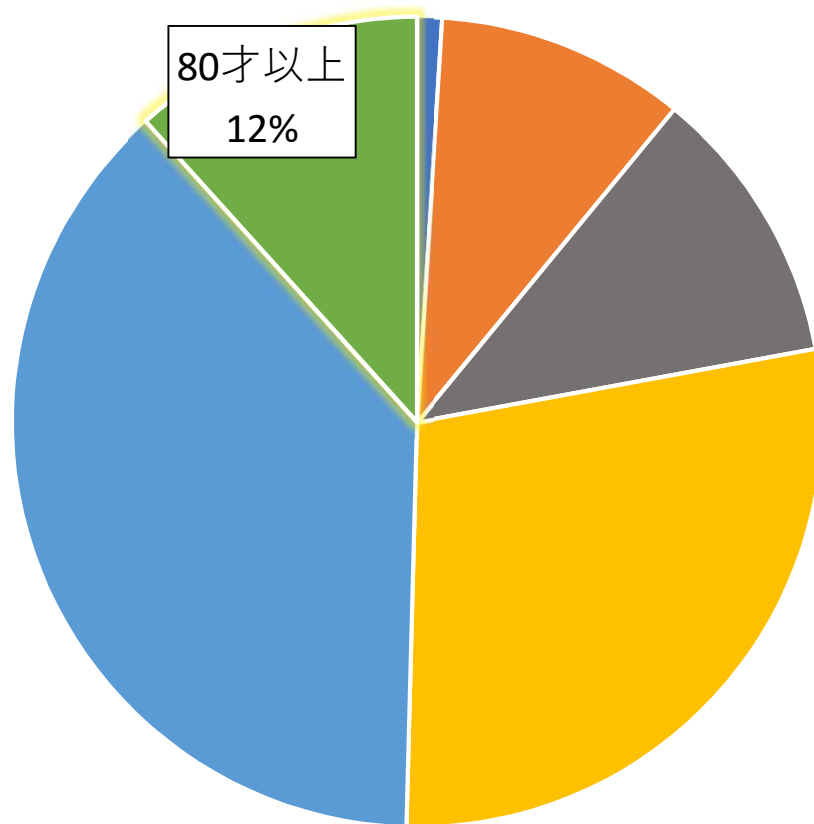
個別検診 (16,318人)



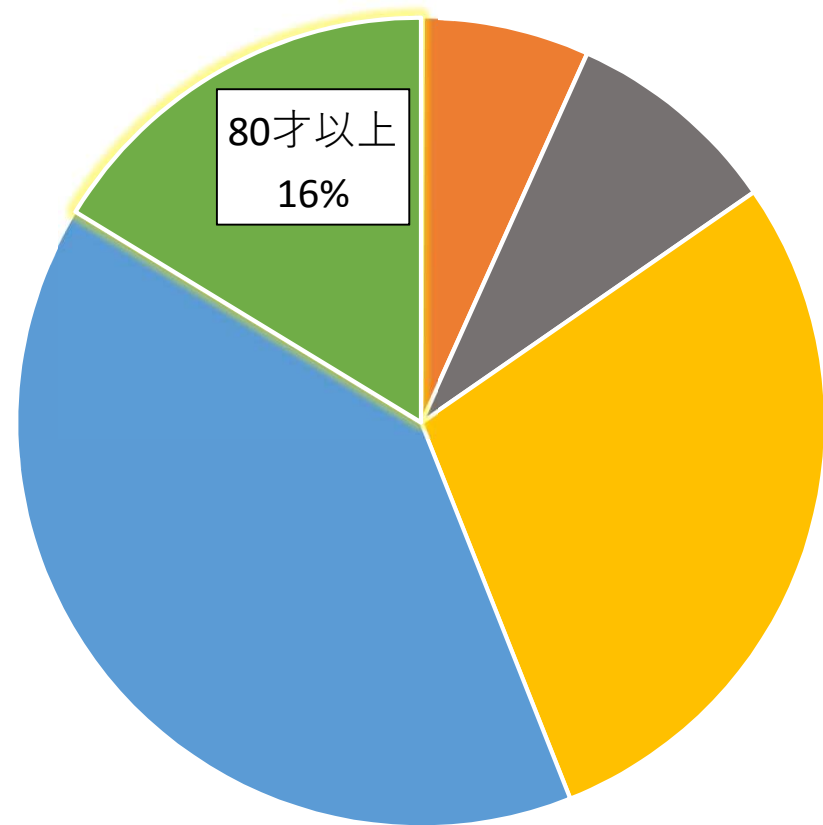
※ 初回受診とは、検診を初めて、又は4年以上前に受けた方

受診者の年齢区分別割合

集団検診 (37,319人)



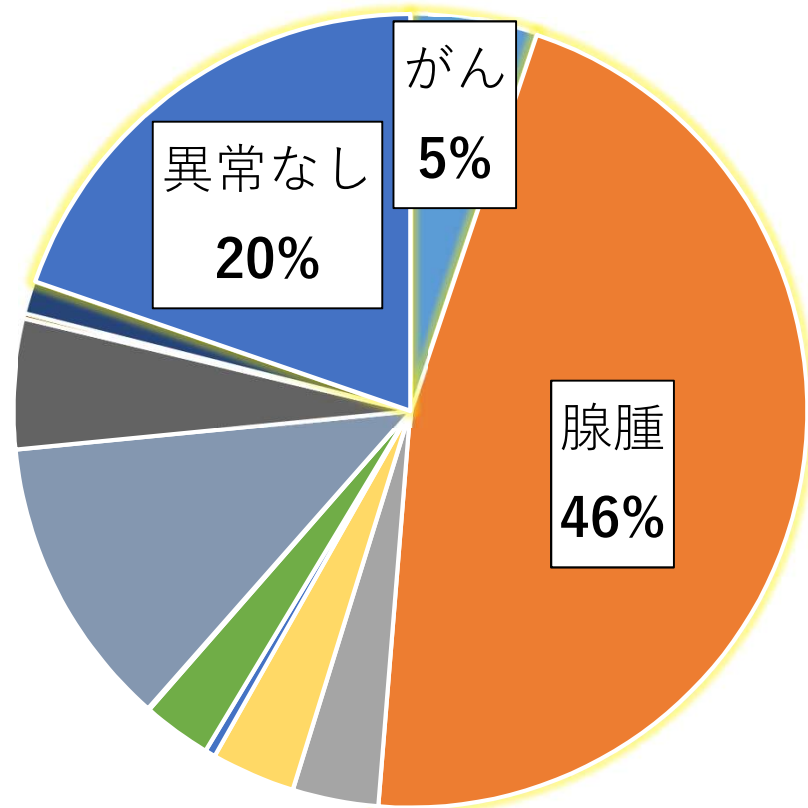
個別検診 (16,318人)



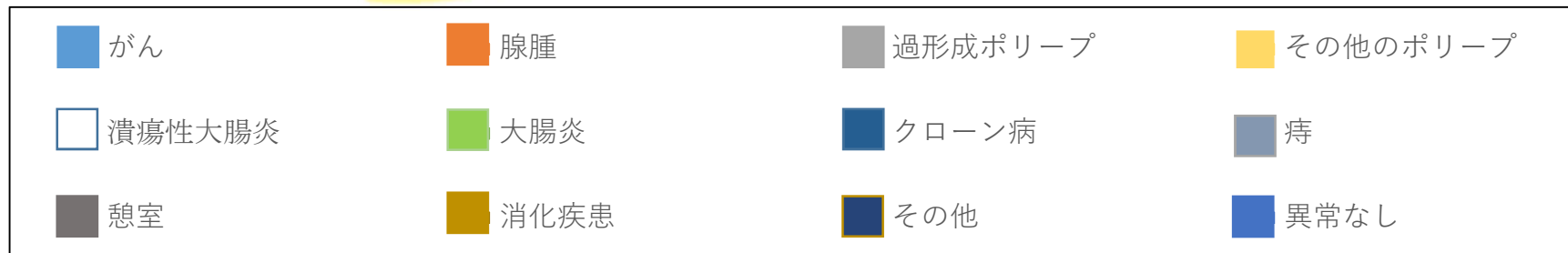
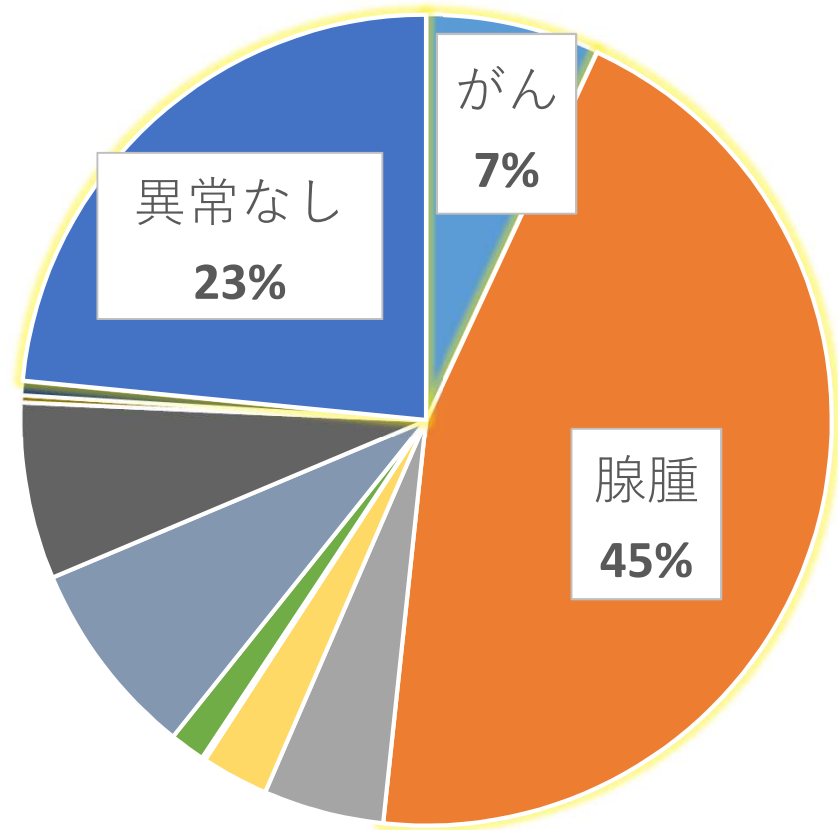
■ 40才未満 ■ 40～49才 ■ 50～59才 ■ 60～69才 ■ 70～79才 ■ 80才以上

精密検査結果

集団検診 (1,431人)



個別検診 (708人)

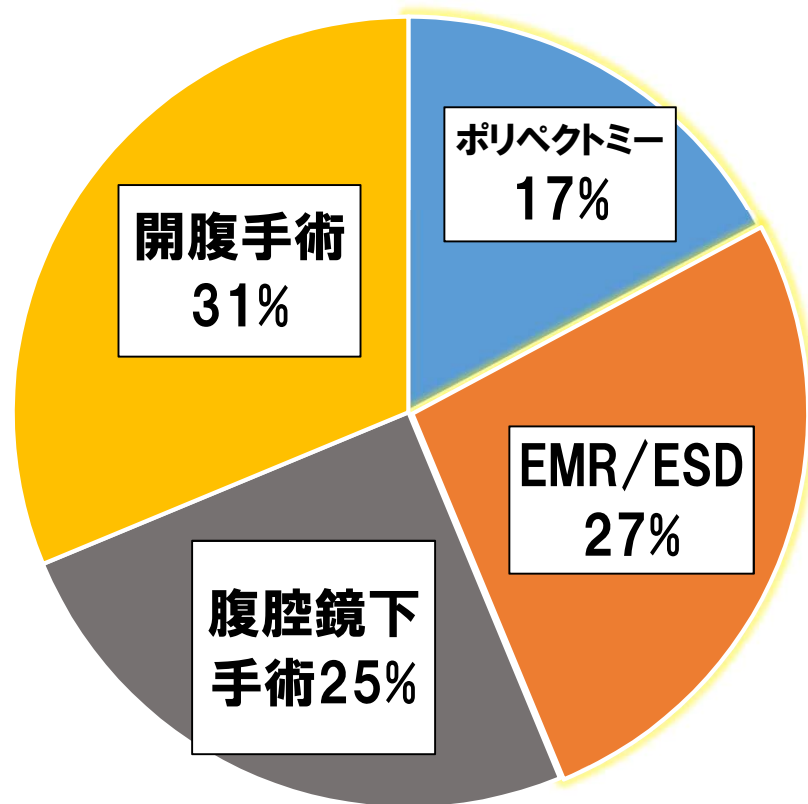


発見大腸がん症例数

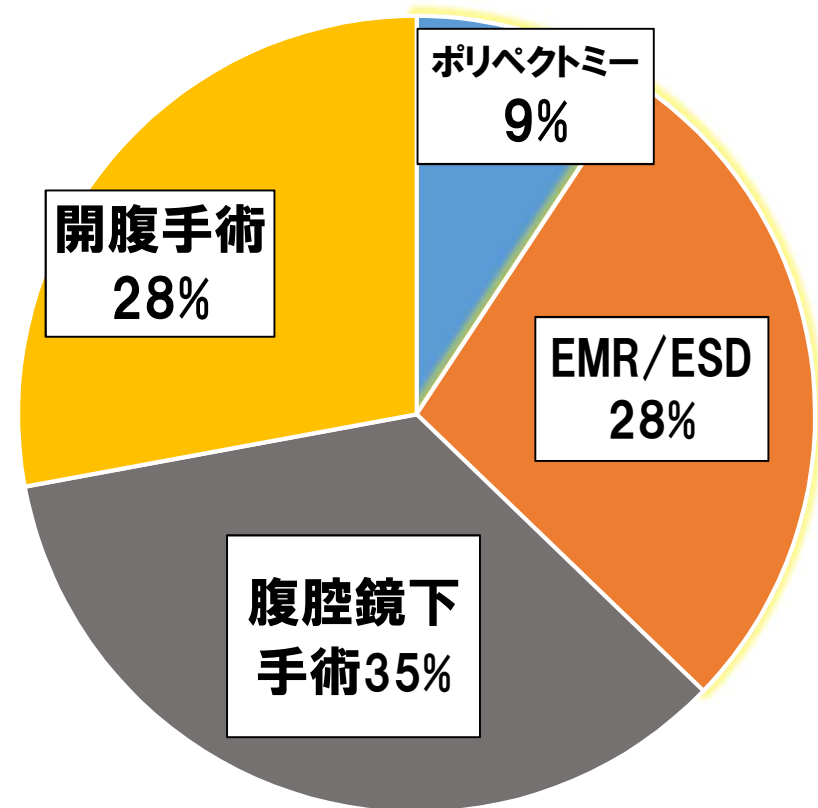
集団検診	個別検診
総数 74例 早期 47例（早期がん比率63.5%） 進行 27例 ※症例報告書未報告 9例 ※化学療法 1例	総数 49例 早期 29例（早期がん比率59.2%） 進行 20例 ※症例報告書未報告 5例 ※無治療 1例
報告症例数 64例 早期 41例 進行 23例	報告症例数 43例 早期 25例 進行 18例

治療方法

集団検診 (64人)

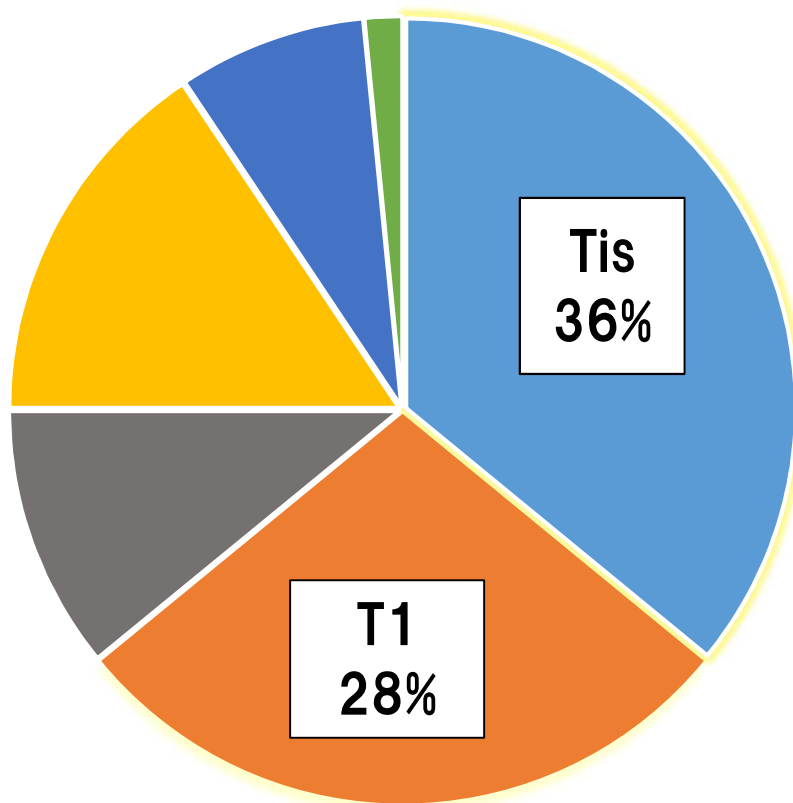


個別検診 (43人)

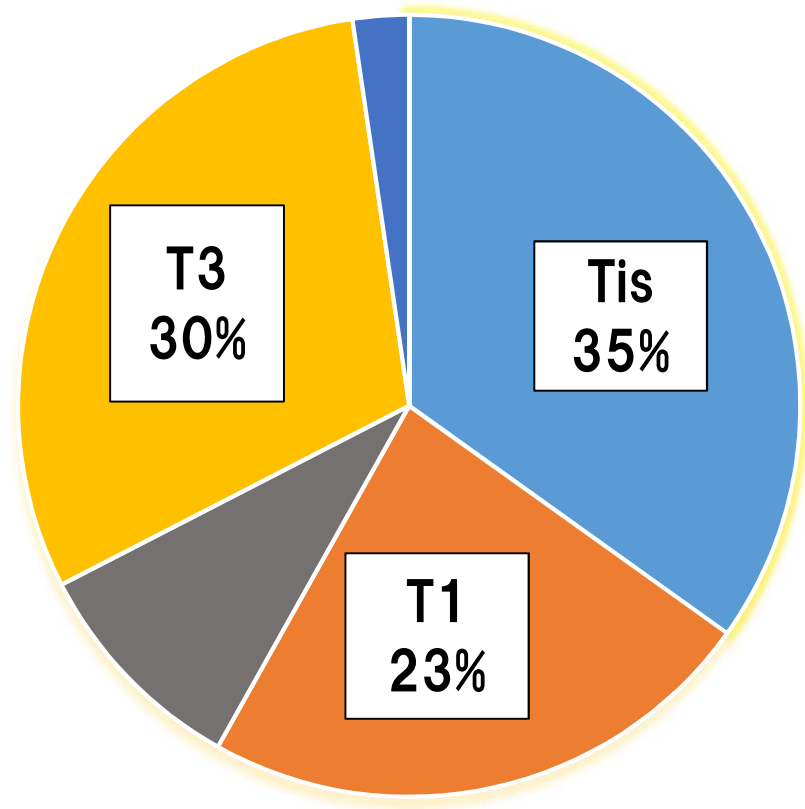


深達度

集団検診 (66人)

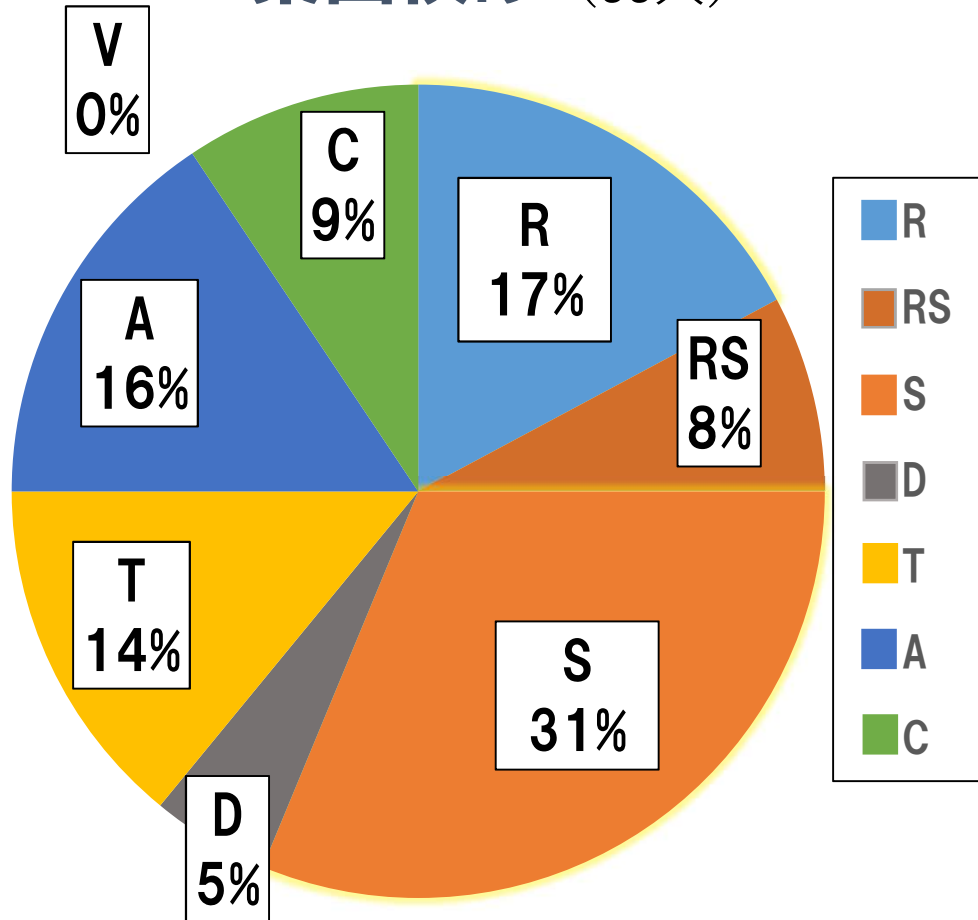


個別検診 (44人)

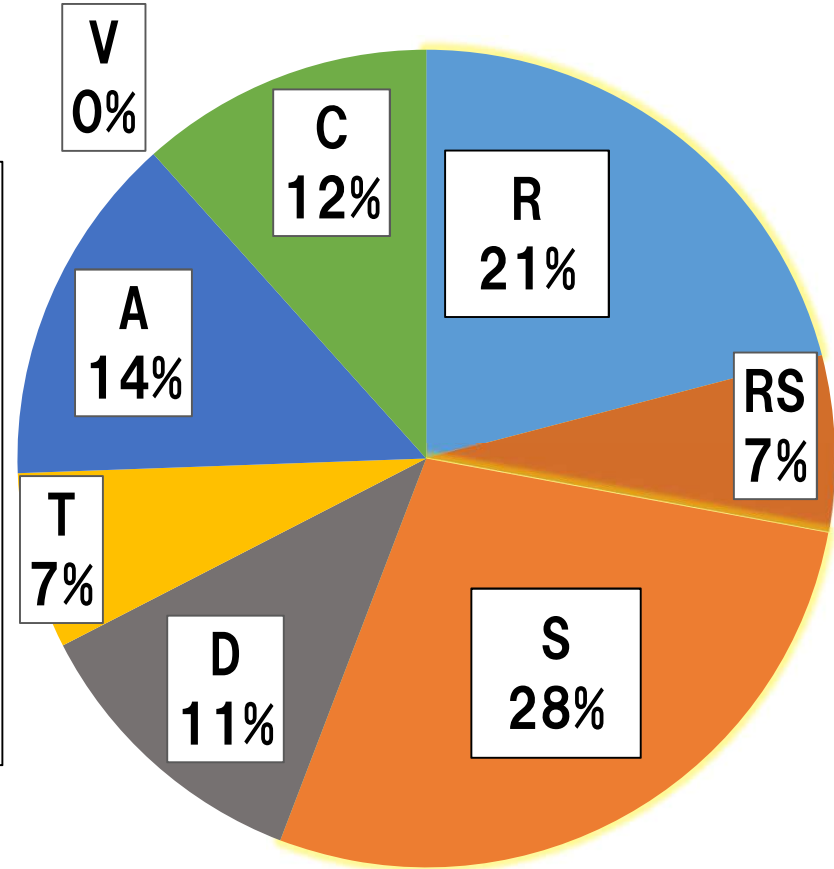


占拠部位

集団検診 (66人)



個別検診 (44人)



受診歴とDukes分類

受診歴	集団検診					個別健診				
	DuKesA	B	C	D	例数	DukesA	B	C	D	例数
初回	12 (57%)	3	3	3	21	9 (60%)	2	3	1	15
1 年前	28 (80%)	4	3		35	14 (70%)	2	4		20
2 年前	2 (33%)	3	1		6	5 (83%)	1			6
3 年前	2 (100%)				2	1 (50%)			1	2
計	44 (69%)	10	7	3	64	29 (67%)	5	7	2	43

※ 初回受診とは、検診を初めて、又は4年以上前に受けた方

1年前の受診歴がある症例の深達度と占拠部位

集団 35例	深達度	R	RS	S	D	T	A	C
早期	Tis	2		5	1	3	1	1
	T1	3	2	1		2	2	2
進行	T2	1			1	1	2	
	T3		1		2			1
	T4a						1	

個別 20例	深達度	R	RS	S	D	T	A	C
早期	Tis			3	1		1	
	T1	2		1		2		1
進行	T2	1			1		1	
	T3	1		1		1	1	1
	T4a		1					

1年前の受診歴がある進行がん症例

1年前の便潜血	陰性	陽性	合計
集団検診	8	2	10
個別検診	9		9

1年前の受診歴がある進行がん症例で1年前大腸の便潜血陽性症例

	性別 年齢	肉眼的 分類	部位	大きさ mm	深達度	Dukes	1年前
集団 検診	女性,75	2型	C	65	T3	B	精検未受診
	男性,88	2型	T	12	T2	A	早期 部位D 無治療

1年前に便潜血陰性の進行がん症例(集団検診)

性別 年齢	肉眼的 分類	部位	大きさ mm	深達度	D u k e s 分類	S T A G E
女性,81	2型	A	41	T2	A	I
男性,68	2型	D	20	T2	A	I
女性,73	2型	R	22	T2	A	I
男性,84	2型	T	45	T3	B	Ⅱ
女性,80	2型	T	107	T3	B	Ⅱ
女性,73	2型	A	70	T2	C	Ⅲa
女性,66	2型	S	20	T3	C	Ⅲa
女性,88	2型	A	50	T4a	B	Ⅲb

1年前に便潜血陰性の進行がん症例(個別検診)

性別 年齢	肉眼的 分類	部位	大きさ mm	深達度	D u k e s 分類	S T A G E
男性,69	1型	R	13	T2	A	I
男性,78	2型	A	25	T2	A	I
男性,63	2型	D	24	T2	A	I
女性,85	1型	A	35	T3	B	Ⅱ
男性,66	2型	S	32	T3	B	Ⅱ
男性,69	2型	RS	36	T4a	C	Ⅲa
女性,82	2型	C	30	T3	C	Ⅲb
男性,85	2型	T	40	T3	C	Ⅲb
男性,84	5型	R	48	T3	C	Ⅲb

まとめ

- 1 受診者数は平成30年度と比べ695人の増加となった。
(集団検診198人、個別検診497人)
- 2 要精検率は集団検診は5.1% (前年比 + 0.2%)、個別検診は6.1 %
(前年比 + 0.6%) で増加した。
精検受診率は集団検診は74.8% (前年比 + 0.9%)、個別検診は71.7%
(前年比 + 2.5%) で 前年度より高くなった。
50歳代男性の精検受診率が極めて低かった
がん発見率は集団検診で0.20%、個別検診で0.30%であった。
- 3 大腸がん発見数は集団検診で74症例 (早期46,進行27)、個別検診で
49症例 (早期29,進行20) であった

まとめ

- 4 逐年検診で進行がんが見つかった方が**19名**（逐年検診でがんが見つかった方の**35%**）そのうち前年度陽性が**2名**。ひとりは精検未受診。もうひとりは早期がん（今回とは部位が異なる）で無治療。
- 5 今後の受診者数増加の為には、広報、受診勧奨、市町との連携等で、年**1回**検診の周知と検診の必要性を認識して頂き、集団検診の受診者数の回復を目指さなくてはならない。
また精検未受診者に対する精検受診勧奨にも力を入れて行きたい。